

平成29年度 第1回糸島市教育委員会会議録

- (日 時) 平成29年4月28日(金) 13時30分から14時48分まで
- (場 所) 糸島市役所本館3階 庁議室
- (出席委員) 徳田 敬委員長、西 憲一郎委員(職務代理者)、松尾 実恵委員
宮崎 眞希子委員、家宇治 正幸教育長
- (事務局出席者) 泊 早苗教育部長、平野 真也教育総務課長、石硯 昭雄学校教育課長
波多江 修士生涯学習課長、角 浩行文化課長、岡部 裕俊文化課企画監
高田 和宏教育総務課課長補佐兼総務係長
- (傍聴人) なし

1 会議事項

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 会議録の承認
- (3) 福岡教育事務所管内教育長会の報告
- (4) 議事
 - ① 議案第1号 糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について
 - ② 議案第2号 糸島市青少年育成指導員の委嘱について
 - ③ 議案第3号 糸島市社会教育委員の委嘱について

2 協議事項

- ・糸島市表彰基準等検討委員会委員の推薦について

3 報告事項

- ① 糸島市教育振興基本計画(平成29年4月改訂版)の策定について
- ② 平成29年度教育部各課の特徴的な取組みについて
- ③ 平成29年度糸島市教育委員会学校訪問日程について

4 その他

- (1) 各課業務の主な取組状況及び課題について
- (2) 教育委員から
- (3) その他

5 開 会

委員会開会を宣告 13時30分

定足数に達し会議が成立している旨の委員長による報告

4月1日付人事異動に伴う事務局職員の紹介

(1) 会議録署名委員の指名

(徳田委員長)

会議録署名委員については、西 憲一郎委員を指名する。

(2) 会議録の承認

(徳田委員長)

平成28年度第13回教育委員会会議録の承認を求める。

質問、意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

本会議録の承認について、異議のない委員の挙手を求める。

(委員全員)

挙手。

(徳田委員長)

挙手全員であり、異議なしと認め、本会議録については原案どおりで承認された。

(3) 教育長の報告

(徳田委員長)

教育長の報告をお願いします。

(家宇治教育長)

① (配布資料) 平成29年度小中学校校長、教頭、主幹・指導教諭一覧により報告

② 本年度糸島市教育委員会で取り組んでいかなければならない概要の報告

- ・教育環境改善・整備 (加布里小大規模改造、小中全普通教室への空調設備、波多江小、前原南小トイレ改修、波多江小給食室改築)、公共施設の総合管理計画

- ・コミュニティ・スクールの機能化

- ・学校規模の適正化について、12月末を目途に結論を出し、適正化に向けて進めていく。

- ・学校管理職の評価、教育振興基本計画の学校版を作成

- ・教育の日5周年を記念した教育部4課合同で取り組んでいく

- ・教育振興基本計画の見直し

③ 管内教育長会の報告

～配布資料に基づき報告～

- ・平成29年度福岡教育事務所重点課題について

- ・各課・各室等年間行事予定について

- ・教育事務所各課・各室等業務概要について

- ・平成 29 年度小学校用教科用図書（道徳）採択に係る業務の流れについて
- ・ストレスチェック結果を活用した職場環境等改善について
- ・平成 29 年度福岡教育事務所と市町教育委員会との連携による基本研修の指導について
- ・平成 29 年度福岡教育事務所特別支援教育アドバイザー養成講座について
- ・平成 26～28 年度「家庭教育を支援する社会教育主事派遣事業」実績報告について
- ・平成 29 年度社会教育主事講習について

（徳田委員長）

ただいまの報告に関して質問等はないか。なければ管内教育長会の報告を終る。なお、報告資料が多いので熟読願いたい。

議事を進行する。

（4）議 事

（徳田委員長）

議案第 1 号から第 3 号については、人事に関する案件のため、糸島市教育委員会会議規則第 14 条第 2 項により、本来、会議を公開しないが、本日傍聴者がいないことから、このまま審議に入る。

（徳田委員長）

議案第 1 号 糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱についての件を議題とする。
事務局より提案理由の説明を求める。

（波多江生涯学習課長）

糸島市立公民館条例第 4 条第 2 項の規定により、教育委員会の議決を求めるものである。
委員の異動・転出等により今回 24 名を新たに委嘱するものである。

なお、委嘱期間は平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 1 年間となる。

（波多江生涯学習課長 別紙により説明）

（徳田委員長）

質問、意見はないか。

（委員全員）

なし。

（徳田委員長）

これより議案第 1 号の採決を行う。本案に対する賛成の委員の挙手を求める。

（賛成委員挙手：全員）

（徳田委員長）

挙手全員である。よって、本案は原案のとおり可決する。

次に、議案第 2 号 糸島市青少年育成指導員の委嘱についての件を議題とする。
事務局より提案理由の説明を求める。

(波多江生涯学習課長)

糸島市青少年育成指導員設置規程第5条の規定により、教育委員会の議決を求めるものである。委員の異動・転出等により今回74名を新たに委嘱するものである。

なお、委嘱期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間となる。

(波多江生涯学習課長 別紙により説明)

(徳田委員長)

質問、意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

これより議案第2号の採決を行う。本案に対する賛成の委員の挙手を求める。

(賛成委員挙手：全員)

(徳田委員長)

挙手全員である。よって、本案は原案のとおり可決する。

次に、議案第3号 糸島市社会教育委員の委嘱についての件を議題とする。

事務局より提案理由の説明を求める。

(波多江生涯学習課長)

糸島市社会教育委員設置条例第3条の規定により、教育委員会の議決を求めるものである。今回、団体代表として1名を委嘱するものである。

なお、委嘱期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間となる。

(波多江生涯学習課長 別紙により説明)

(徳田委員長)

質問、意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

これより議案第3号の採決を行う。本案に対する賛成の委員の挙手を求める。

(賛成委員挙手：全員)

(徳田委員長)

挙手全員である。よって、本案は原案のとおり可決する。

(5) 協議事項

(徳田委員長)

協議事項に移る。

糸島市表彰基準等検討委員会委員の推薦について 事務局より説明を求める。

(平野教育総務課長)

4月13日付けで糸島市教育委員からの委員の推薦について依頼がなされており、

委員からの推薦について、皆様にお諮りするもの。

なお、執行部側としては、委員長にお願いできないか。との意向もあり、お願いしたところ、ご理解いただき、内諾は得ている旨、報告し説明する。如何か。

(委員全員)

是非、徳田委員長にお願いしたい。

(徳田委員長)

承知・承諾される。

(平野教育総務課長)

徳田委員長におかれましては様々な方面から委員等兼任されていらっしゃることは承知いたしておりますが、何卒、よろしく願いいたします。

(6) 報告事項

(徳田委員長)

続いて報告事項に移る。

① 糸島市教育振興基本計画（平成 29 年 4 月改訂版）について

(平野教育総務課長)

本年 1 月の委員会において 10 月末での進捗について中間報告を行っていたが、今回、平成 28 年度初年度の実績数値を反映させたいと、平成 29 年度の各取組について所要の修正を行い、平成 29 年 4 月改訂版として作成したので報告するもの。

平成 27 年度に策定し本年度が最終年度となり目標達成に向けて精力的に取り組んでいくこととしている。特徴的な部分について各課長より説明させていただく。

(各課長より資料に基づき説明する。)

《共通》 平成 28 年度目標数値に対する実績数値を明記。

～特徴的な修正箇所（部分的抜粋）～

P11 施策 1 中、主な取組み・事業 土曜授業の推進について、平成 29 年度から学力向上地域活動事業と名称を替えて市独自予算により継続して実施。

P17 施策 6 中、主な取組み・事業 特別支援教育充実事業

P24 施策 13 中、主な取組み・事業 普通教室 351 教室への空調機設置

P32 施策 22 中、主な取組み・事業 古代シンポジウム 国の史跡指定を目指す三雲・井原遺跡の歴史的価値について考えるシンポジウムの開催、特別展・企画展・博物館講座の実施 秋季に古代の出雲地方と伊都国の関係をテーマとした特別展の開催

P33 施策 23 中、主な取組み・事業 史跡買い上げ事業 国指定史跡新町支石墓群・怡土城跡の用地買上げ について 平成 28 年度末をもって事業完了した旨

P36 施策 26 中、主な取組み・事業 伊都文化会館大規模改修事業 平成 28 年度末をもって完了した旨 多目的ルームの利用促進 文化振興イベントの開催

(徳田委員長)

ただいまの報告に関し、何か質問、意見はないか。

(西委員)

P18 開かれた学校づくり 課題 校区の状況の応じたコミュニティ・スクールの構築が

課題である。特に前原地区3中学校は小学校区が分かれることから、どのようなコミュニティ・スクールを目指すのかを研究する必要がある とあるが具体的にはどのような課題か

P29 健全育成の充実 育成したジュニアリーダーが、その後、地域でどのような活動を行っているのか

(石硯学校教育課長)

中学校へ進級する場合、同一小学校から同一中学校へ進学していない現状であり、ストレートに小学校と中学校を1つのグループとした取組を行うことは難しい。小学校では地域資源を生かす。中学校では地域貢献・地域に参画していく。無理が生じないように、ある程度それぞれの独立性を持ったイメージをもった取組みを進めている。

コミュニティ・スクールの活動を固定的に捉えるのではなく地域・学校の実情に応じた取組みとして進めてまいりたいと考えている。

(波多江生涯学習課長)

昨年実績として中学生を対象として3回、1泊2日、6日間の研修を行った。指導者からの講話、野外活動、創作活動、野外調理等を行いながら最終的にはプログラミングできるよう指導し、修了証を交付している。そのような人材を地域に紹介し、地域によっては地域子ども会の活動に参加してもらうなど地域活動へと繋げていってほしいと考えている。

(松尾委員)

P17 特別支援教育体制の充実 相談内容、就学前(幼稚園・保育園)と小学校との連携協議はどうか

(石硯学校教育課長)

特別支援教育に対する周囲の理解が社会全体に高まってきている現在、保護者から相談を受けられるケースは増えている。相談の結果、通常学級との判定件数は増えている。

入学前には小学校と幼稚園・保育園との連携協議を行っている。幼稚園・保育園からの情報をもとに小学校では必ず保護者との面談を行ったうえで、新しく個別支援計画を作成し、指導にあたっている。中学校への進学にあっても学校教育課主催の研修会を実施し市独自の計画書を作成し、指導にあたっている。

就学児健診に学校長が同席し、気になる子の確認を行っている。

(松尾委員)

保護者へ更に広報・周知をお願いしたい。

(家宇治教育長)

本市では幼保と小、小と中の連携は行われている、これを更に中と高へと繋げてまいりたい。

(徳田委員長)

ほかにないか。

(宮崎委員)

P17 特別支援教育の充実 課題として障害に応じた適切な支援を行うことが出来るよ

うにするための研修の充実について どのような取組を実施されているのか。

(石硯学校教育課長)

平成 26 年度での課題として挙げているが、その後、市の教育センターの事業として独自の研修を実施している。

特に専門家ではないため、教員がどのようにして、情報を把握し、専門機関へ繋いでいくのかなどを研修している。

(家宇治教育長)

以前、馳 文部科学大臣が「チーム学校」構想の中で S S W、臨床心理士等教員以外の方々を学校へ派遣していくなど、大いに期待される場所であるが、予算が伴うことから今後の国・県の動向も見極めながら進めてまいりたい。

(徳田委員長)

P 21 学校人権・同和教育の充実 手引き作成 内容、組織について

P 37 文化施設の整備と活用 伊都郷土美術館利用者数 来館者数が伸びている理由

(石硯学校教育課長)

手引き 2 「ネット」上の人権侵害、小学校 朝木・重富両校長、中学校 藤井校長と人権同和担当で組織構成を予定している。

3 性の多様性 県の指定研究で前原中、前原南小で取り組んだ成果を生かす形で進めていきたいと考えている。

(角文化課長)

分析は行っていないがデザイナーを招聘したイベント（ファッションショー）を行ったことや新しい企画を実施したことがあげられる。

(松尾委員)

P 15 健やかな体をつくる食育の推進

料理教室の開催は各公民館などで定期的に行われているのか。

(石硯学校教育課長)

公民館などでの開催（定期的）ではなく、夏休みに募集して実施しているもの。

(徳田委員長)

ほかに質問、意見はないか。

(委員)

なし。

(徳田委員長)

続いて ② 平成 29 年度教育部各課の特徴的な取組みについて 報告を求める。

(資料に基づき各課長より報告する。)

(徳田委員長)

ただいまの報告に関し、何か質問、意見はないか。

(西委員)

P 10 公民館のコミュニティセンター化の具体化 どのような形へと変わっていくのか。

(泊教育部長)

現時点では明確な方向性を持っている状況ではない。社会教育法上の制限を含め、解決す

べき課題があるが、市長部局とも協議しながら進めてまいりたい。

(宮崎委員)

外国語、道徳が教科化、教員の退職等叫ばれている中、授業時数の確保はどうか

(石硯学校教育課長)

叫ばれている午前中 5 時間授業は低学年ほど厳しいと感じている。

児童クラブのニーズが大幅に増える。本市では土曜授業に年間 10 回、他市に比べれば年間小学校で 30 時間、中学校で 40 時間確保しているが更に行事の精選が必要となってくる。この 1 年・2 年で検討していかなければならない。

(家宇治教育長)

現時点では、時数確保のための夏休みの短縮は考えていない。

(徳田委員長)

ほかにないか。

(委員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、会議を進行する。

続いて ③ 糸島市教育委員会学校訪問日程について 報告を求める。

(平野教育総務課長)

(資料に基づき説明する。)

(徳田委員長)

ただいまの報告に関し、何か質問、意見はないか。

(委員)

なし。

(徳田委員長)

では、委員の皆さんの日程調整をお願いする。案内は、事務局より改めて通知させる。

(7) その他

①各課業務の主な取組み状況と課題について

(徳田委員長)

各課業務の主な取組み状況と課題について報告を求める。

(平野教育総務課長)

教育委員会会議等日程のお知らせ

(石硯学校教育課長)

スケジュールの報告

小中学校の運動会・体育祭の日程について情報提供

(吉富生涯学習課長)

スケジュールの報告

福岡マラソンの取組みについて

(角文化課長)

スケジュールの報告

博物館・資料館の来館状況

(徳田委員長)

ただいまの報告について、質問等はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

その他、質問等はないか。

特になければ、以上で各課業務の主な取組み状況と課題について報告を終る。

② 委員の皆さんからないか

③ その他

その他、質問等はないか。

(委員全員)

なし。

3 次回会議

(徳田委員長)

今回は5月24日を予定しているが、よろしいか。

(委員全員)

異議なし。

(徳田委員長)

では、次回は5月24日に決定する。

なお、午前中、深江小学校の学校訪問を予定しているので併せて調整方お願いする。

(委員全員)

異議なし。

次回会議は平成29年5月24日(水) 13時30分に決定

4 閉会 徳田委員長 委員会閉会を宣言 15時00分